

平成21年度第3回八幡地域協議会会議録（概要）

日 時 平成21年10月19日（月）午後1時30分～午後3時25分

場 所 八幡中央公民館 大ホール

出席者（12名）

1号委員 佐藤重孝 土井棟治朗 土井長俊 信夫一秋 後藤甚一
丸藤百合子 後藤正利 池田善幸 遠田蓉子

2号委員 後藤純子 兵藤満喜子 池田桂

八幡総合支所：支所長 後藤登喜男、地域振興課長 後藤修、地域振興主幹 齋藤仁志、
市民福祉課長 川島真、建設産業課長 土田清一、八幡病院事務長 小松秀司、
地域振興課 永森忠嗣・御船正周・佐藤義夫

欠席委員 浅井博之委員 高橋知美委員 後藤征四郎委員

傍聴者： 1名

議事日程

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 協 議
 - (1) 委員の提出課題に対する回答等
 - (2) 荒瀬川ふれあい水辺の賑わいの創造について
 - (3) 地域の宝の掘り出しについて
 - (4) その他
- 5 閉 会

1 開 会

○兵藤満喜子副会長　本日はお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。これより、第3回目の地域協議会を開会いたします。本日、都合により欠席の委員は、浅井博之委員、高橋知美委員、後藤征四郎委員の3名です。会議次第に従いまして、土井会長からの挨拶をお願いします。

2 会長あいさつ

○土井長俊会長　今回は、第2回の協議会において、委員の皆さんから提出していただいた課題の中から項目を選び、審議することといたしました。どうか建設的で、実りある議論をお願いします。

3 会議録署名委員の指名

○兵藤副会長　会議に入る前に、会議録署名委員の指名を行います。会議録の署名は、委員名簿の順番で行うこととしておりますので、今回は、“4番の信夫一秋委員”にお願いしたいと思います。信夫委員、よろしくお願いします。

○信夫一秋委員　はい。

○兵藤副会長　それでは早速協議に入ります。会長が議長となり進めていただきます。

4 協議

○土井議長　それでは協議に移りますが、初めに委員から提出された課題に対する回答を事務局からお願いします。その後、ご案内の項目についての意見交換をしたいと思います。ではまず、事務局から説明願います。

○後藤地域振興課長（資料No. 1により説明）前回、議会で答弁したものと及び地元からの要望等については、回答を行うと申し上げ、資料としてまとめました。最初の「交通の利便性について」は、6月及び9月市議会で内容のとおり答弁を行うと共に、現在、市において、デマンドタクシーの運行を検討しています。次に、「地域づくり課題等について」のうち、①～⑦までの要望事項については、既に施行済みか実施予定となっております。なお、その他の項目については、記載のとおりですので、後ほどご覧下さい。

○土井議長　ただ今の説明に関して、何かご意見はございませんか。

○佐藤重孝委員　議会に対してこのように答えたというのと地域協議会での話し合いの性格は違うのではないのでしょうか。

○後藤支所長　議会での答弁は市の最終の考えであり、それ以上のことは私共として申し上げられないことをご理解いただきたいと思います。今回、このバスの件は協議する課題になっておりませんが、もしこの協議会でこうしてもらいたい、という意見が出たとすれば、その内容を市の担当課に申し伝えるつもりであります。

○佐藤重孝委員　私は別に、地域で議論することは構わないのではないかと考え、提出したものです。

○後藤支所長　市で地域公共交通会議という組織がありますが、そこが地域の意見をまと

める機関ですのでご理解いただきたい。

○土井議長 ただ今の佐藤委員の意見は、行政と共にこのように施策を進めればこうした具体像が出てくるのではないかと、という提案だと推察します。ほかにご覧いませんか。ないようですので、次に、課題に対する協議を行ないます。各委員から、まず課題についての提案理由の説明をお願いし、その後に意見交換を行ないたいと思います。なお、時間の関係から、次回に協議を行なう課題もありますのでご了承願います。では初めに、「荒瀬川ふれあい水辺の賑わいの創造について」、信夫一秋委員からお願いします。

○信夫一秋委員 八幡の中心部を流れている荒瀬川に、舞鶴橋下流から三ツ橋橋までを子供たち、そして八幡の市民が故郷の思い出を創り、リフレッシュできるふれあい水辺の賑わいを創造してはどうか、という提案です。具体的には、3つのふれあいゾーンということで、『親水ふれあいゾーン』は雑魚の隠れ場所の設置等、『ふるさと水辺ゾーン』は散策路及び進入路の設置、そして『体力づくりゾーン』は八幡橋から三ツ橋橋までの堤防舗装等です。課題としては、河川管理者、用地買収協力、漁業組合、土地改良区等との調整が考えられます。また市民に対するPRと維持管理をするためのボランティア組織の育成が必要だと考えます。なるべく自然を壊さず、お金も掛けないでできればと考え、提案しました。

○土井議長 それでは委員の皆さんからのご意見を伺いたいと思います。

○土井棟治朗委員 現在、荒瀬川左岸には散策路があり、右岸にも整備すれば迂回も巡回もできることとなります。これは私が提案した木橋の復元とも関連しますが、木橋が駄目なら可動橋もあります。暴れ川で有名な吉野川が例で、今では観光スポットにもなっておりますので、ご検討願えれば幸いです。

○後藤甚一委員 信夫委員の言われたように整備できれば良いと思います。ちなみに1日平均で何人ぐらい散策路を歩いているかわかりますか。

○土井議長 私は存じ上げませんが。

○遠田蓉子委員 朝晩ですが、結構な人数が散歩しているのを見掛けます。ただ、昨今の集中豪雨による荒瀬川の怖さを知ったうえで、こうした整備を行って欲しいと思います。

○土井議長 ありがとうございます。ほかにありますか。

○後藤純子委員 親水ふれあいゾーンについては、私も夏に孫と一緒に遊び、楽しみの一つになっています。また、散歩やランニングで散策路等を利用する人が結構いるようです。また、体力づくりゾーンの堤防の舗装も賛成です。それから、水中観察館ですが時々行ってもゴミしか見えない状況で、何か別の利用方法がないのでしょうか。

○土田建設産業課長 貴重な提案感謝いたします。データはありませんが、散歩等での利用者が多いことは承知しています。委員の課題にもあったように、県が河川管理者となっております。地域でこの計画を煮詰め、熟度が上がった場合は、県に対して要望していくことも可能ではないかと考えます。

○土井議長 先ほど土井棟治朗委員からありました、木橋の復元も含めてということでしょうか。

○後藤支所長 木橋については、あの箇所は河川幅が狭く、資料のとおり、旧町時代に復

元はしないと決定し、当時、地元にも説明を行ったものです。本提案全体については、建設産業課長がお答えしたとおりだと考えます。なお、その中の体力づくりゾーンについては、中学校統合後の説得力のある理由になりますが、市の総合計画にはないため、もし事業化するとすれば、地元及び関係機関との協議は不可欠ではないでしょうか。

○**土田建設産業課長** 私水中観察館に行った際も、水が少なく、魚は見えませんでした。ガラスは定期的に清掃しているものの、夏場はすぐ藻が生えやすいということがあるようです。

○**後藤純子委員** 体力づくりゾーンについて言えば、中学校生徒の要望が大きいと思います。以前、中学校近くの銀行前の道路に歩道を設置して欲しいと、生徒会長が県知事に要望したところ、実現しました。やはり、普段から使っている地域の人が声を上げていく必要があると思います。

○**信夫一秋委員** 佐藤重孝委員の同級生の子供さんが、小学校4年生の時に書いた鮮明な思い出の本を持ってきましたので、皆さんにご紹介します。

○**土井議長** 信夫委員の課題については、皆さんよろしいでしょうか。それでは次に移ります。高橋委員の課題については委員が欠席のため、次の課題の「地域の宝の掘り出しについて」を後藤純子委員から説明願います。

○**後藤純子委員** 地域には資源や宝が多くあるはずですが、実は地域のことが良く分かっていないのではないか、と思います。本協議会には、年配の委員や地区が異なる委員が集まるため、情報を得たい。また、宝は場所、人、生産物、行事等何でもいいので、本地区を洗い出し、活性化に結び付く物はないか、雇用の場の確保に通じる物はないか、探りたいと考え提案しました。やはり地場産業によるまちおこしが必要だと思いますので、将来を見通して真剣に考え、いい案を出していきたい。

○**遠田蓉子委員** 先日、女性部で廃校を利用した金山のNPO法人の視察に行きましたが、女性ががんばっており、菜種油やそば等地産地消を進め、役場に納税するほどになっているそうです。様々な研修に参加していますが、感じることはどのようにして客を呼び込むかが大切だということです。皆が知恵を出し合えば、一つでもできることがあるのではないのでしょうか。

○**土井議長** その他ご意見ございますか。

○**土井棟治朗委員** 地場産業で言いますと、資料にもありますが、飲むヨーグルトが好調で工場を建設するとのこと。現状では、生産量が少ないため、都会に販売量を回すと地元で売れる量がなくなる、ということだそうです。

○**土井議長** どこにどういう宝があるのか、皆さんが感じていることは多少異なると思います。積極的な意見をお願いしたいと思います。

○**池田善幸委員** 地域を良くするためにはいかに人をつくるか、誰がやるのかに尽きると思います。先ほどの遠田さんの話にあったように、成功している所は、人がやる気を出してやっている。住んでいる人が目を向け、問題意識を持ち、どう目標に向かっていくかが原点だと思います。今は、これだけやるから行政に予算を付けてくれと言っても無理な話で、実際にやっていきながら道を探っていくしかないのかな、と考えます。

○**土井議長** 事業をする前に、土壌づくりをしなければならない、というご意見かと思えます。そのほかにご意見ございませんか。

○**齋藤地域振興主幹** これまでのご意見は、地場産業が中心でしたが、伝統芸能等の地域の宝もあります。私の個人的な感想でいえば、地域の産直や仕事に関わった大島田の天狗舞など、地域の宝が周りにたくさんあるのですが、気付いていないように感じます。それから、市全体への情報発信が不足していると思いますので、行政としても取組んでいきたい。

○**土井議長** そのほかありませんか。

○**後藤支所長** 住んでいたり、いつも見ている人にとっては大したことはないが、外の人にとっては相当なものだったりする。また、地域の人が案外知らなかったり、活用されていないことから対応できないことがあります。先ほど話があったように、ヨーグルトは評判が良く、現状ではこれ以上生産ができないため、新たな工場を建設予定ということです。余り知られていないと思いますが、市内での販売先の最大手が、平田にある酒造会社ですが、それを使ったお酒は八幡地区では販売されていない状況とのことです。なお、日向地区にある「どんでん」という産直には、市内より無農薬野菜を求めて、早くからお客さんが訪れるそうです。

○**後藤純子委員** ヨーグルト工場を建設するという事は、原料は足りているということですか。

○**土田建設産業課長** 現在は、年間で鳥海高原牧場の牛乳の50トンがヨーグルトの加工に回っています。工場の建設により、約400トンの牛乳を使用の計画です。

○**土井議長** そのほかご意見はございませんか。ないようでしたら、その他に移りたいと思います。事務局から報告事項等ありましたら、お願いします。

○**事務局**（資料N o. 2により説明）地域協議会運営事業、ふるさと会交流促進事業及び沖縄・東村への派遣等を行う青少年国内外交流事業は、本年度同様に継続予定です。花いっぱい推進事業は看板製作代を減額としています。地域振興事業及び通学バス保護者会支援事業についても本年度同様の予定です。生涯スポーツ振興事業は八幡体育祭の委託経費の計上により、約70万円増の予定です。最後に、庁舎等維持管理事業は、八幡タウンセンター関係経費の増額による要求額となっています。

○**土井棟治朗委員** 資料N o. 3についての説明をお願いしたい。

○**後藤支所長** 資料は今月下旬に入札予定の設計図面のため、変更があり得ますのでご了承願います。玄関には要望のあった身障者車椅子用の駐車帯を設けます。西側の植栽帯にはタブノキの植樹を予定しており、保健センターとタウンセンター間はスロープにはなりますが、車の乗り入れは可能です。国道からの乗入れ口付近には、時計付きのポール灯を設置予定です。なお、総合支所は1月4日から、タウンセンターにて業務を行う予定で、中央公民館は1月中旬頃から解体の予定ではないか、と考えております。

○**土井棟治朗委員** 中央公民館を解体した跡が駐車場になる予定だと、以前聞いたことがあります。独立した屋外のトイレ設置とタウンセンターへの時計付きポール灯について伺いたい。

- 後藤支所長** 現時点では駐車場になる予定だということと、また通常の用務はタウンセンターの駐車場で足りるため、屋外へのトイレ設置は考えておりません。時計については、図面だけですの、少々イメージが湧かないと思われます。
- 土井棟治朗委員** 時計については、加齢してくると見えにくいいため、できるだけ表示を大きくすることを望みたい。
- 後藤支所長** 西側植栽帯については、維持管理が容易なタブノキを植樹の予定となっておりますが、どうでしょうか。
- 池田善幸委員** 確かタブノキは、山形・秋田両県境の三崎公園が北限ではなかったか。また通常は、海岸端に植生していると思いました。
- 土井棟治朗委員** タブノキとそれから孟宗竹もこの辺りが北限のはずです。
- 後藤支所長** 現時点では、タブノキの植栽ということで設計をお願いしたいと考えます。
- 丸藤百合子委員** 中央公民館跡が駐車場になるのだとすれば、歩道橋は必要ないでしょうか。今まで事故が起こってはいませんが、国道の交通量はかなりあるし、そのところを伺いたい。
- 後藤支所長** 北側の駐車場も含め、タウンセンターの敷地内には45～6台の駐車が可能です。普段の用務についてはそれで間に合うと思いますし、東側駐車場もあります。ただし、大きなイベント時には、解体跡の駐車場を利用する必要がありますが、その際は、主催者より交通誘導員を付けて頂くことで、充分ではないかと考えています。
- 池田桂委員** 3点お伺いしたい。まず、大島田から法連寺のフラワーロードに今年は何も植えていないため、草が伸び放題の状況です。次にヨーグルトの件で、現在の8倍の400トンの牛乳を使用することのだが、原料は確保できるのでしょうか。最後に、最近タウンセンターで1月に開催するコンサートのチラシが来ましたが、場所が「交流ホール」となっており、その名称は決定なのでしょうか。
- 事務局** 花いっぱい推進事業は、年度当初に各区長さんに対して、運動の取り組み希望の案内を行い、希望する区に対して、種子・育苗用土・堆肥をお渡しする仕組みですので、ご理解いただきたいと思います。
- 土田建設産業課長** 鳥海高原牧場生産の牛乳で充分対応可能だ、ということです。
- 後藤地域振興課長** 9月の定例市議会で議決されましたが、条例上の正式名称は「酒田市八幡交流ホール」で、通称は「交流ホール」ということです。
- 池田善幸委員** 現在、大沢と日向のコミセンについては、旧小学校校舎を利用することで改修工事を行っていますが、これまでは、降雪前の植木の冬囲いや窓ガラスが積雪等で破損しないように、校務員が手を掛けていたはずですが。施設の維持管理に対するコミセンの予算はほとんどないような状況で、かといって地域のボランティアをお願いするのも市の施設ということから考えるといかがなものかと思う。施設管理に対する市の考えをお聞きしたい。
- 齋藤主幹** 両施設の除雪については、市のまちづくり推進課の責任で対応してもらうようお願いしていきたい。ただ、細かい場所については、地元からも協力してもらおうことになると思うので、ご承知おき願いたい。

○**後藤支所長** 雪囲いの部分については、まだ、そこまで考えが及んでいない状況だと思います。市でやるともやらないとも明確に答えられないので、担当課と今後相談させていただきたい。

○**池田善幸委員** 以前の学校と違って、コミセンの場合は必要な所しか、暖房を付けないので、雪の積もり具合も違うように予想している。

○**後藤支所長** 平田・松山も同じだと思うが、一冬、積雪の状況を見る必要があるのではないか。

○**土井議長** ほぼ予定の時間となったようです。ほかにないようでしたら、本日の地域協議会を終了したいと思います。

5 閉 会

○**兵藤副会長** これを持ちまして、第3回目の地域協議会を閉会といたします。委員の皆さんご苦労様でした。